

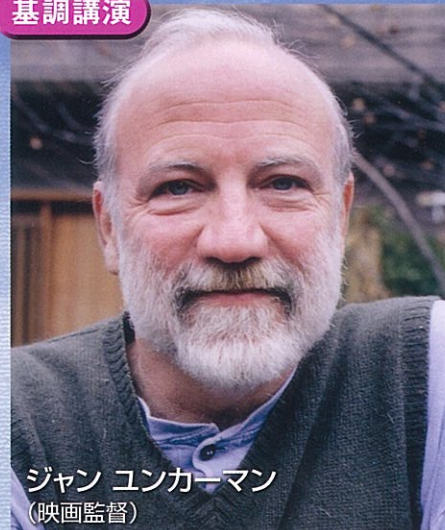
● 第16回 憲法記念行事 ●

世界から見た 日本国憲法

基本的人権の尊重や平和主義を基調としている日本国憲法。
施行されて60年が経った今、日本国内では、
憲法改正案や改憲に向けた意見が公表され、
押しつけられた憲法とか、時代遅れの憲法などと言われています。
はたして本当にそうでしょうか？
そこで、日本国憲法を世界から見ると
どのように見えるのかを検証してみましょう。
戦争の渦中にあるイラク、北朝鮮の脅威にさらされている韓国、
その他世界的視野を持つパネリストをご招待し、
諸外国から見た日本国憲法についてご意見を伺います。

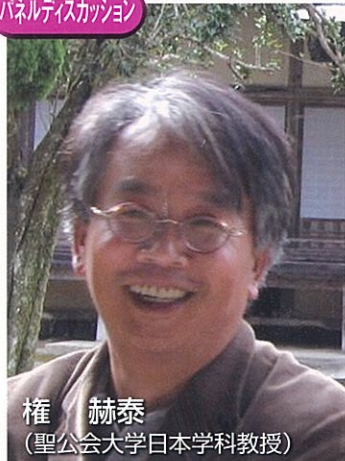
国際紛争地域が求める
平和の在り方

基調講演



ジャン ユンカーマン
(映画監督)

パネルディスカッション



権 赫泰
(聖公会大学日本学科教授)



ワカル・アブドゥ・カハル
(医師)



吉岡 達也
(ピースポート共同代表)

コーディネーター

鮎川 一信氏(弁護士)

入場無料
(予約不要)

日 時

2007年 5月12日(土)

午後1時～4時半(受付は12時30分～)

会 場

弁護士会館2階 クレオ

東京都千代田区霞ヶ関1-1-3

地下鉄 ■丸の内線・霞ヶ関駅B1-b出口より直通
■日比谷線・霞ヶ関駅A1出口より徒歩2分
■千代田線・霞ヶ関駅C1出口より徒歩3分
■有楽町線・桜田門駅5番出口より徒歩5分

5月11日(金)には、裁判所、検察庁、弁護士会
を巡るスタンプラリーを実施します。
応募方法は、第一東京弁護士会ホームページを
ご覧ください。



主 催 ● 日本弁護士連合会・東京弁護士会・第一東京弁護士会・第二東京弁護士会
問い合わせ先 ● 第一東京弁護士会 会員課 TEL.03-3595-8580